

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

A 一般型

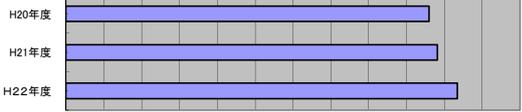
No. 1030011

通常評価

I 事業の概要

I-1 事業の概要

事務事業名 ホームページアドレス	総合環境情報誌の作成	所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部循環企画課
		(連絡先)	213-4930
	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-5-0-0-0_9.html	(評価票作成者)	循環企画課長 牧村 雅史

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	目標達成度評価	
33,062	14,800	現状のまま継続	29,200	指標： 啓発冊子, ちらし配布部数	
業務運営方法		委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 (名称) 委託先: (株)関広 (内容) 冊子の版下作成		<input type="checkbox"/> かなり悪い <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> かなり 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 110% 120% H20年度  H21年度 H22年度	
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)		京都市循環型社会推進基本計画～京のごみ戦略 2-1～ 京都市循環型社会推進基本計画 (2009-2020)		事務事業の性格 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的事業	
開始時期		平成 16 年度	終了(予定)時期	平成 年度	会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計
				類型 11 その他	

事業概要	対象	(誰を, 何を) 京都市民及び事業者
	活 動 内 容	(どのような手段で) 発生抑制・再使用など上流対策によるごみ減量やリサイクルを促進するために, 積極的に周知・啓発を行う。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) 市民及び事業者が, 環境意識を高め, ごみ減量・リサイクルの自主的取組を促進し, 京都市循環型社会推進基本計画 (2009-2020) を着実に進める。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	7,119	12,940	33,062	14,800	29,200
		需用費 (冊子作成, 印刷経費)	6,298	9,006	25,553	12,450	9,600
		役務費	5	1,970	1		
		使用料及び賃借料			1,299	360	
		①' 委託料 版下作成, データ翻訳業務等	816	1,964	6,209	1,990	19,600
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)	11.5%	15.2%	18.8%	13.4%	67.1%
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)	5,389	9,124	14,654	5,923	5,481
		職員(課長級) (人)	0.08	0.08	0.10	0.04	0.03
		職員(課長補佐級, 係長級) (人)	0.16	0.30	0.40	0.15	0.15
		職員(係員) (人)	0.32	0.60	1.15	0.48	0.44
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費 (①+③) (千円)	12,508	22,064	47,716	20,723	34,681
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)		9,042	33,062	14,800	29,200
		国庫・府支出金 (千円)					
受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)							
	その他(基金繰入金, 雑入) (千円)		9,042	33,062	14,800	29,200	
⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)	12,508	13,022	14,654	5,923	5,481	
⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

II 評価結果

事業名 総合環境情報誌の作成

II-2 業績評価 (II-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略)

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	啓発冊子, ちらし配布部数	目標値 …①	部	710,000	710,000	730,000	730,000	730,000
		実績値 …②	部	681,400	696,800	755,100		
		目標達成度 (②÷①)	%	96.0%	98.1%	103.4%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価	良い	良い	かなり良い		
指標2		目標値 …①						
		実績値 …②						
		目標達成度 (②÷①)	%					
	指標の種類		評価					
			総合評価					

指標の選択理由		目標値設定の考え方	
指標1	市民に情報提供を行うという事業の性質上, 成果の数値を把握しづらいため, 配布部数を指標とする。	毎年作成している啓発冊子, ちらしの市民しんぶん 挟み込み部数, 各区役所, まち美化事務所への配布部数等の合計。	
指標変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指標名	適用年度
指標2			単位
指標変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指標名	適用年度
分析	<実績値の変動理由等> 平成22年度は「京都ごみ減量・分別ハンドブック」の作成と全戸配布を行った。		

B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	啓発冊子, ちらし発行部数		710,800	760,000	784,900
	②	年間経費 (事業費及び人件費の合計額)	千円	12,508	22,064	47,716
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	18	29	61
	④	単位当たり経費変動率			+65.0%	+109.4%
			評価	かなり悪くなった	かなり悪くなった	
分析	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ, 平成22年度の経費が増加したため効率性が悪くなった。 平成22年度は, 平成18年度に作成した「京のごみ減量事典」の全面改訂版として, 「京都ごみ減量・分別ハンドブック」の作成と全戸配布を行った。同ハンドブックはページ数が60ページあるため, 例年作成する啓発物よりも作成経費を要					

C 市民参加度	企画段階	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 無	<現状分析, 今後の方針等> 市民の声をとり入れ, より分かりやすい紙面づくりを行っていく。
	実施段階	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 無	
	評価段階	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 無	

D 市民満足度	<調査の有無> <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 該当しない		<調査結果, 現状分析等>
	<調査方法>	<調査時期>	

E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 関連 <input type="checkbox"/> 一般	<現状分析, 今後の方針等> 市内全世帯に配布したことにより, 上流対策によるごみ減量・リサイクルなどの市民の自主的な取組を推進する。
-------------------	--	--

平成23年度の実施状況	「京都ごみ減量・分別ハンドブック」(平成23年3月作成・市内全戸配布)の追記版を作成し, 平成24年3月15日号の市民しんぶんに折込み, 配布予定。
-------------	--

市会・監査・外部機関等からの指摘	平成20年5月28日のくらし環境委員会において, 冊子内にはカタカナが多く, 年配の方にわかりにくいいため, 用語説明を入れるなどの配慮をしてほしいとの指摘があった。
------------------	---

III 今後の方向性

現状のまま継続	(今後の方向性の理由及び具体的な内容) ごみ減量・リサイクルを促進していくため, 引き続き, ごみ減量・リサイクルに関する情報を掲載したチラシの作成を行う。 なお, 平成24年度から事務事業名を「ごみ減量・分別普及啓発経費」とする。
---------	--